

100 years of Japanese Tableware - Okuratouen

2020 / 1 / 7 tue 3 / 29 sun

華めく洋食器

大倉陶園 100年の歴史と文化



前期 1月7日(火)～2月16日(日) 後期 2月18日(火)～3月29日(日)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

入館料 一般1,400円(1,300円) 学生1,100円(1,000円) * ()内は20名以上の団体

会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 TEL 075-752-5555

主催: 細見美術館 京都新聞 特別協力: 株式会社大倉陶園 助成: 公益財団法人 花王 芸術・科学財団

細見美術館

<http://www.emuseum.or.jp>



1



2



3



4

1. 貴賓用特別食器揃（満州国皇帝溥儀を迎えるに際し製作）1935年 奈良ホテル蔵
2. 色時デミタス碗皿 1935-45年 東京村田コレクション
3. 瑠璃透彫サービス皿 1940-45年 個人蔵
4. 陶染付薔薇花瓶 1935-45年 個人蔵
5. 鷗鷗 1928年 東京村田コレクション

表「一本のバラ」プレート（部分）1990年 大倉陶園蔵 撮影：鈴木 心



- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
 - 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
 - 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
- ご来館には公共交通機関をご利用下さい。

次回展予告
飄々表具－杉本博司の表具表現世界－
2020年4月4日（土）～6月21日（日）

大正8（1919）年に大倉孫兵衛、和親父子によって創設された大倉陶園は、日本を代表する洋食器メーカーとして世界に誇る作品を生み出してきました。「良きが上にも良きものを」の理念のもと生産される磁器は、フランスのセーヴルやドイツのマイセンなど西洋の名窯にも比肩する高い品質を有していると評価されています。品格を備えた洋食器は、皇室をはじめ、数多くの文化人や財界人に愛されたほか、老舗ホテルやレストランでも供され、日本の洋風文化の一翼を担ってきました。

本展では、草創期から現在までの作品を通じ、その優れたデザインや品質を紹介するとともに、日本の洋食器文化における同園の役割を探ります。また、最新の調査結果を反映し、これまで知られることのなかった創業当時など戦前の様子を伝える貴重な資料も併せてご覧いただきます。

特別展示

各イベントの詳細はホームページをご覧ください。

大倉陶園 × 細見コレクション at 茶室 古香庵

日時：1月15日（水）～19日（日）午前11時～午後5時

* 入場無料

関連イベント

ギャラリートーク

「奈良ホテルと大倉陶園」

日時：1月18日（土）・2月22日（土）午後2時～

講師：辻 利幸氏（奈良ホテル副総支配人）

* 聴講無料 ただし別途入館料が必要

アートサロン

「大倉陶園のお話とティータイム」

日時：2月15日（土）午後1時～ 講師：黒澤 学氏（株式会社大倉陶園）

* 有料・事前申込制

気軽にお茶会体験 第38回

「洋食器のミニ茶会 ー大倉陶園のうつわで楽しむー」

日時：3月8日（日）①午前11時 ②午後1時 ③午後3時

* 有料・事前申込制

会期中のイベント

アクティブ鑑賞会 茶室で出会う日本の美

「令和をひらく、寿ぎの美 第3回 令和の初春」

日時：2月8日（土）午後2時～ 講師：岡野智子（当館 上席研究員）

* 有料・事前申込制

友の会「古今」限定イベント

観覧DAY

日時：1月7日（火）午前9時30分～

* 会員無料

ギャラリートーク

日時：2月18日（火）午前9時30分～ 講師：伊藤京子（当館 主任学芸員）

* 会員無料・事前申込制

